

対キルギス共和国 事業展開計画

2013年 8月 現在

基本方針 (大目標)	民主主義の定着を後押しする持続的かつ均衡のとれた経済成長への支援
---------------	----------------------------------

重点分野 1 (中目標)	運輸インフラ整備と地域間格差の是正
-----------------	-------------------

開発課題 1-1 (小目標)  運輸インフラの整備  輸出競争力強化のための物流促進プログラム	【現状と課題】 ロシア、カザフスタン、中国といった大消費地に囲まれている地理的環境と、国内の限定的なマーケット規模を勘案すると、キルギス経済の底上げには「国内外のコネクティビティの確保」と、輸出力の強化を支える「輸送コストの削減」が求められている。一方で、ソ連崩壊後の道路事情は悪化しており、災害（地滑り、雪崩）発生時や、冬季の積雪時には地方遠隔地へのアクセスが困難となっているだけでなく、経済活動の活性化の観点からも、劣悪な道路事情や複雑な税関手続き等が、円滑な物流のボトルネックとなっている。そのため、持続的かつ均衡のとれた経済発展のためには、基盤となる地域を繋ぐ運輸インフラの整備が不可欠となっている。		【開発課題への対応方針】 都市と地方、さらには海外市場につながる輸送ルートを整備し、幹線道路網や物流インフラを中心とした運輸インフラの整備を行う。また、整備したインフラの適切な維持管理が課題になっていることから、インフラ整備のみならず、運輸通信省の政策・計画の策定・実施能力および技術力向上に向けた支援を行う。具体的には、橋梁の架替えや道路網整備などのインフラ整備、維持管理に必要な道路補修用建機の供与や、維持管理体制・技術力の強化などを行う。物流促進の観点から、税関手続きの改善なども視野に入れて支援を実施する。なお、将来的な円借款供与の可能性を念頭に、具体的な案件形成についても検討を行う。										
	協力プログラム名	協力プログラム概要	プロジェクト名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考	
					2012 年度 以前	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度			
		キルギス経済の海外市場との結びつきの重要性を考慮し、国内産業の輸出競争力の強化のための基盤整備を主目的とする。 具体的には、道路網を中心とする運輸インフラ整備や輸出入の円滑化のための支援を実施し、これに関連して、キルギスの大きな課題である持続的な維持管理を含む政策・計画の策定・実施能力、技術力向上のための支援を行う。	ビシュケク-オシュ道路クガルト川橋梁架け替え計画詳細設計	無償	—						0.52		
			ビシュケク-オシュ道路クガルト川橋梁架け替え計画本体工事	無償	—						11.96		
			オシュ・ジャララバード・タラス州道路維持管理機材整備計画	協準	—								
			橋梁・トンネル維持管理能力向上プロジェクト	技プロ	—								
			道路行政アドバイザー(広域)	個別専門家	—								
			地域別研修「中央アジア地域道路維持管理」及び国別研修「道路行政」	課題別研修他	—								
			ビシュケク市交通改善計画調査	開発計画	—							2.40	
	地域別研修「中央アジア・コーカサス諸国税関行政」		課題別研修他	—									



重点分野2 (中目標)	社会インフラの再構築											
開発課題2 (小目標)  社会セーフティ ネットの整備	【現状と課題】 キルギスは、独立国家共同体（CIS）諸国の中でタジキスタンに次ぐ貧困国であり、1991年の独立以降、教育、保健医療などの社会セクターの諸分野をはじめとして社会インフラの老朽化が深刻な問題となっている。1991年のソ連崩壊後の社会セクターに対する公共支出の削減などの要因が、社会的弱者に悪影響を与え、大きな問題となっている。また経済成長に伴い、都市と農村地域間の経済格差が拡大しており、持続的かつバランスのとれた経済発展の確保が課題となっている。				【開発課題への対応方針】 社会主義体制崩壊で疲弊した同国の保健医療、教育など社会セクターの回復を通じて市場経済及び民主化の中心を担う国民の生活水準向上を目指す。保健医療分野では、国際保健政策2011-2015を、教育分野では、新教育協力政策2011-2015を念頭に置いた取組を進める。							
	協力プログラム名	協力プログラム概要	プロジェクト名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考
	ベーシック・ヒューマン・ニーズ(BHN)改善プログラム	保健医療分野では、主に終了済みの医療機材整備にかかる無償資金協力のフォローアップ及び草の根・人間の安全保障無償資金協力無償を中心に、老朽化している病院機材の更新に係る協力を実施する。そのほか、教育などの分野では主に草の根・人間の安全保障無償資金協力をを行う。	障害者支援分野の地域別研修  障害者支援分野の青年海外協力隊  障害者支援分野のシニア海外ボランティア  BHN分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	課題別研修他  JOCV  SV  草の根無償	2012年度以前	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	1.31	
	社会セクターの復興プログラム	2010年4月の政変、6月の南部民族衝突において破壊され、また脆弱性が表出した病院・学校などの医療・教育施設などの公共施設の復旧を図る。	基礎教育整備計画(UNICEF連携)	マルチ							3.77	国際児童基金(UNICEF)連携
	その他											
地域内協力の促進	【現状と課題】 中央アジアは、貧困、環境、水資源、防災、テロ・麻薬など、その解決には地域的協力を必要とする課題を抱えている。2012年11月の「中央アジア+日本」対話第4回外相会合において署名された共同声明において、地域協力の具体的分野として、貿易・投資、環境・省エネ・再生可能エネルギー、ミレニアム開発目標(MDGs)達成と格差是正、アフガニスタン安定化に向けた協力、防災協力の5分野での協力を推進することで一致した。				【開発課題への対応方針】 我が国は、2004年に立ち上げた「中央アジア+日本」対話の枠組みを活用し、地域協力を促進するための触媒としての役割を果たし、同地域全体の安定と繁栄の確保に努める。また、国際機関ドナーと連携し、アフガニスタンなどの周辺地域を含むより広い地域内協力を促進し、国際社会の安定に貢献する。							
	協力プログラム名	協力プログラム概要	プロジェクト名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考
	環境・エネルギー・防災プログラム	鉱物資源開発と環境保護を両立させる能力の強化や、水資源の効率的利用・管理、並びに防災対策の効率化のために不可欠な地域間協力の促進支援を行う。	持続可能な鉱山開発分野の地域別研修  水利組合の発展分野の地域別研修  災害対応・リスク評価能力強化及び地域協力対話促進計画(UNDP連携)  災害対策分野の地域別研修	課題別研修他  課題別研修他  無償  課題別研修他	2012年度以前	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2.04	国連開発計画(UNDP)連携
	国境管理能力向上プログラム	テロ・麻薬取引、人身売買、感染症などの国境を越えて侵入する脅威に対する対応能力の向上を図る。	出入国管理システム近代化計画(IOM連携)  キルギス・タジキスタン国境連絡事務所設置計画(UN連携、実施機関UNODC)	無償  マルチ							1.31 1.27	国際移住機関(IOM)連携 国連薬物犯罪事務所(UNODC)連携
その他												
	協力プログラム名	協力プログラム概要	プロジェクト名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考
		中小企業ノン・プロジェクト無償	ノンプロ	2012年度以前	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	1.00		

【凡例】「協定」(=全ての協力準備調査)、「詳細設計」(=詳細設計)、「技プロ」(=技術協力プロジェクト)、「開発計画」(=開発計画調査型技術協力)、「個別専門家」(=個別機材)、「国別研修」(=課題別研修及び青年研修)、「JOCV」(=青年海外協力隊)、「SV」(=シニア海外ボランティア)、「第三国専門家」(=第三国専門家)、「現地国内研修」(=科学技術協力(技プロ型及び個別専門家型))、「草の根技協」(=草の根技術協力)、「〇〇省技協」(=外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力)、「無償」(=以下に特記するサブスキームを除く全ての無償資金協力)、「ノンプロ」(=ノン・プロジェクト無償)、「草の根無償」(=草の根・人間の安全保障無償)、「日本NGO」(=日本NGO連携無償)、「一般文化」(=一般文化無償)、「草の根文化」(=草の根文化無償)、「有償」(=円借款)、「マルチ」(=国際機関等を通じた多国間協力スキーム)、実線「———」(=実施期間)、破線「- - -」(=実施予定期間) この凡例にない略語を使用する場合は凡例に当概略語を記載したうえで使用する。